

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-059076

(43)Date of publication of application : 02.03.1999

(51)Int.Cl. B43L 19/00  
B65H 35/07

(21)Application number : 09-360615

(71)Applicant : UNION KEMIKAA KK  
ZEBRA PEN CORP

(22)Date of filing : 26.12.1997

(72)Inventor : MORINAGA HIDEYOSHI

(30)Priority

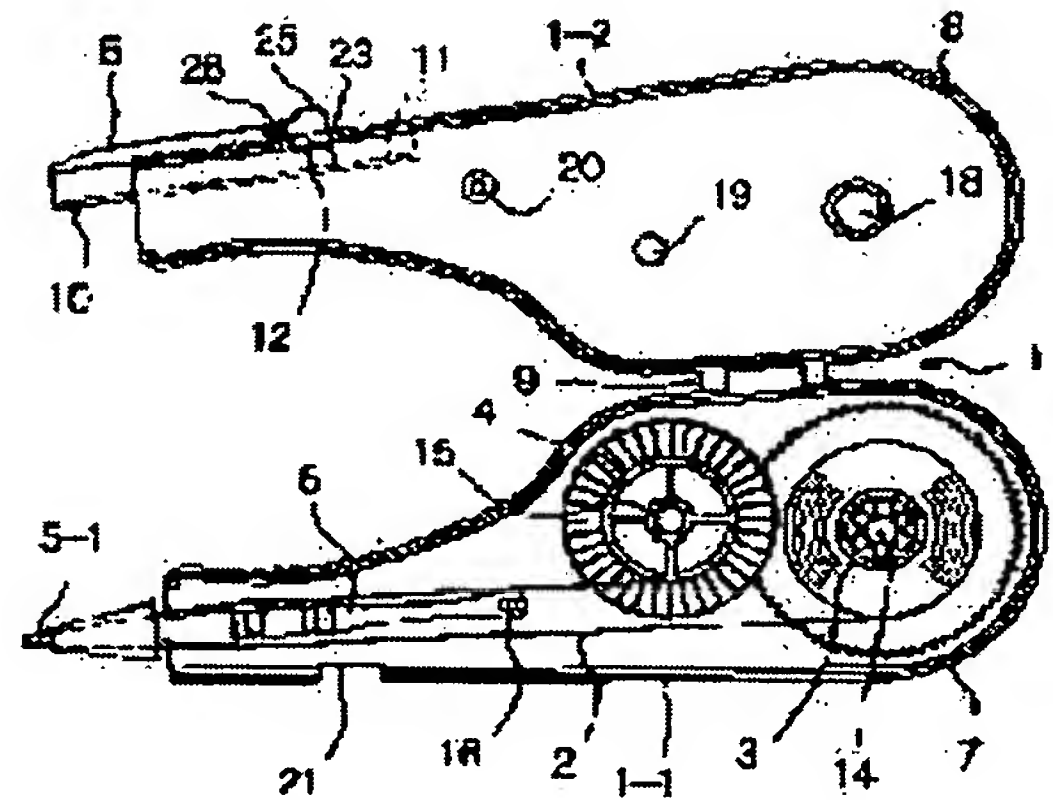
Priority number : 09172948 Priority date : 12.06.1997 Priority country : JP

## (54) TRANSFER DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a transfer device of a transfer tape replacement system in which when a new transfer tape is to be mounted for replacement, a case lid can be separated from a case main body which constitute a case with a lock cover fitted to one side of the case main body or the case lid.

SOLUTION: A lengthy claw 10 is attached to one longitudinal side fringe of a lock cover 6 for protecting the transfer layer of a transfer tape 2 which is exposed from the end opening of a case 1 at an advance position, a short claw 12 is attached to the other side fringe, a lengthy claw groove 11 which makes the lengthy claw 10 of the lock cover 6 be fitted slidably is attached on the side of a case lid 1-2 out of a case main body 1-1 and the case lid 1-2, a short claw groove which makes the short claw 12 be fitted slidably is attached on the side of the case main body, a claw separating recessed notch part 21 which was cut/opened in the length of the short claw 12 is formed at a necessary position in the groove direction of the short claw groove, and the short claw 6 of the lock cover 6 is located to match the notch part 21.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's  
decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of  
rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-59076

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月2日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

B 4 3 L 19/00

B 4 3 L 19/00

H

B 6 5 H 35/07

B 6 5 H 35/07

E

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-360615

(22) 出願日 平成9年(1997)12月26日

(31) 優先権主張番号 特願平9-172948

(32) 優先日 平9(1997)6月12日

(33) 優先権主張国 日本(J P)

(71) 出願人 000115119

ユニオンケミカル株式会社

大阪府枚方市招提田近3丁目10番地

(74) 上記1名の代理人 弁理士 早川 政名 (外2名)

(71) 出願人 000108328

ゼブラ株式会社

東京都新宿区東五軒町2番9号

(74) 上記1名の代理人 弁理士 早川 政名

(72) 発明者 守永 秀芳

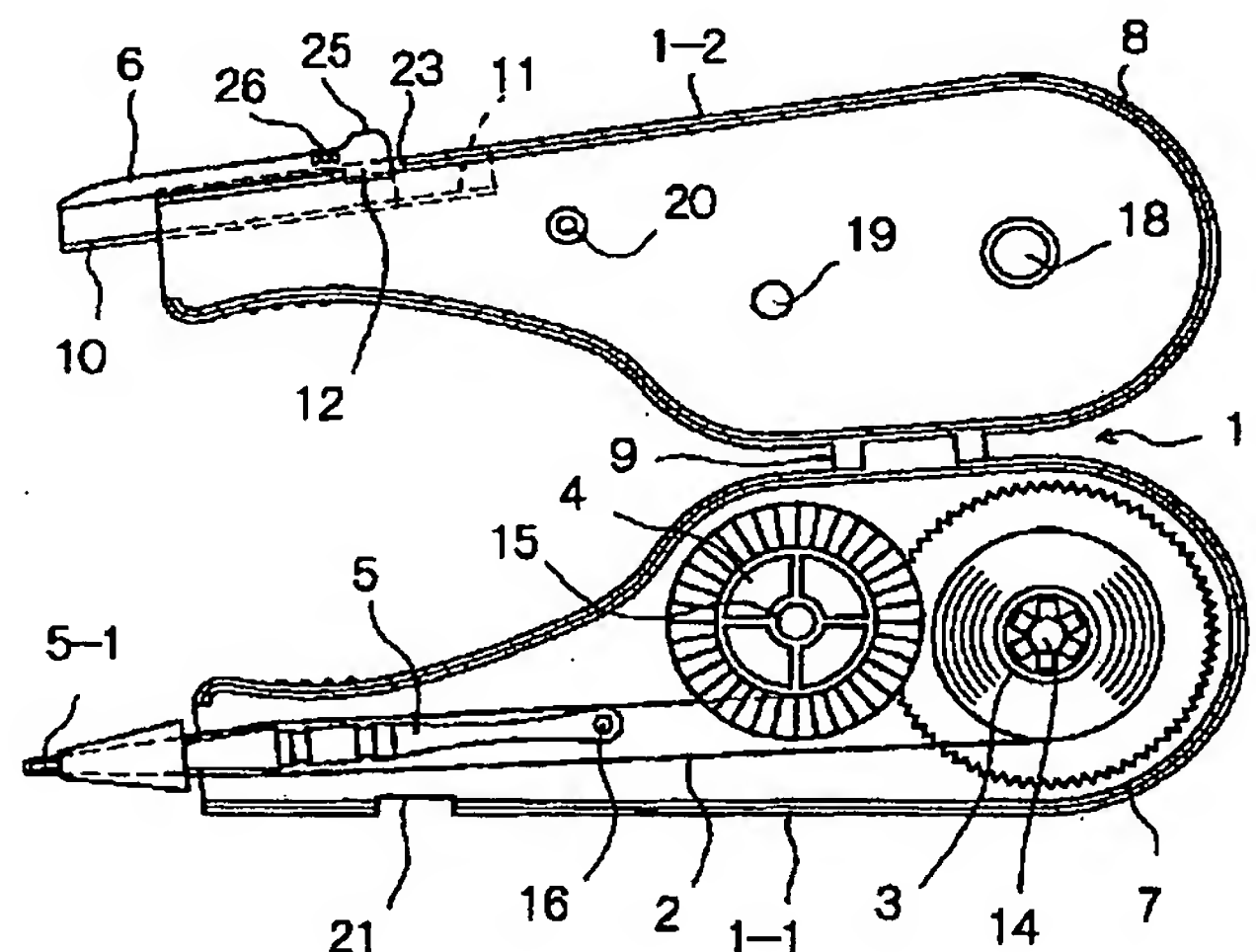
大阪府枚方市招提田近3丁目10番地 ユニ  
オンケミカル株式会社内

(54) 【発明の名称】 転写器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 新たな転写テープの交換補充時に、ケースを構成するケース本体とケース蓋とのいずれか一方側にロックカバーを係止保持させた状態でケース本体とケース蓋とを分離し得るようにした転写テープ交換方式の転写器を提供する。

【解決手段】 前進位置でケース1の先端開口から露出する転写テープ2の転写層を保護するロックカバー6の長手方向一側縁に長尺爪10を設け、その他側縁には短尺爪12を設け、ケース本体1-1とケース蓋1-2の内、ケース蓋1-2側にロックカバー6の長尺爪10をスライド可能に係合させる長尺爪溝11を設け、ケース本体1-1側には短尺爪12をスライド可能に係合させる短尺爪溝を設け、短尺爪溝の溝方向における所要の位置に短尺爪12の長さで切欠開口せしめた爪離脱用凹欠部21を設け、この爪離脱用凹欠部21に対してロックカバー6の短尺爪12を適合位置させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 転写テープを送り出す送出し部と、転写テープの転写層を被転写物に圧着転写する転写部と、転写層が転写された後の転写テープを巻き取る巻取り部とを分離可能なケース本体とケース蓋とからなるケース内に具備し、更に同ケースの先端開口側にはケース本体とケース蓋とを挾持すると共に、該先端開口から突出する転写部を経由し露出する転写テープを保護するロックカバーを前後可動式に具備してなる転写器に於いて、ロックカバーの長手方向一側縁に縁方向に亘る長尺爪を設けると共に、その他側縁にはその縁方向所要の位置で前記長尺爪よりも短い短尺爪を設ける一方、ケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に、前記ロックカバーの長尺爪をスライド可能に係合させる長尺爪溝を設けると共に、他方側には短尺爪をスライド可能に係合させる短尺爪溝を設けて、この長尺・短尺爪溝に対する長尺爪と短尺爪との挿入係合によりケース本体とケース蓋を挾持連結してなり、更に短尺爪溝の溝方向における所要の位置に短尺爪の長さに相当する開口幅にて切欠開口せしめた爪離脱用凹欠部を設けてなることを特徴とする転写器。

【請求項 2】 請求項 1 記載の転写器において、転写部を経由し露出する転写テープを保護する前進位置と、該転写テープを露出させる後退位置において、当該前後各位置にロックカバーに係脱自在に係止する係止部を設けてなることを特徴とする転写器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、文字等の修正に使用する修正剤を有する修正テープや、粘着剤を有する粘着テープ等の転写テープの転写層を紙面等の被転写物にテープ状に圧着転写するために使用されるテープ転写式の転写器に係り、特に転写層が無くなった使用済みの転写テープに変えて新たな転写テープを分離可能なケース本体とケース蓋とからなるケース内に交換補充し得るように構成されている転写テープ交換方式の転写器の改良に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来から紙面等の被転写物に修正剤や粘着剤等の転写層をテープ状に圧着転写するこの種の転写器は商品化され、数多く知られている（例えば、特開平 6 - 286927 号、実用新案登録第 3003030 号公報等参照）。これらの転写器は分離可能なケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に、転写テープを送り出す送出し部と、転写テープの転写層を被転写物に圧着転写する転写部と、転写層が転写された後の転写テープを巻き取る巻取り部とを具備し、使用時において送出し部にリール状に巻回されて該送出し部から送出されてくる転写テープを転写部の圧着ブレードによって、被転写物に圧着させた状態で転写器を移動させることにより修正剤や粘着

剤等の転写層を紙面等の被転写物に転写するように構成されている。そして、送出し部にリール状に巻回されている転写テープの消費（転写層の消費）に伴い転写テープの残量が零となり、転写テープの補充が生じた場合には分離可能なケース本体とケース蓋とを分離して送出し部と巻取り部、そして転写部を露出させた上で、送出し部から巻取り部に亘り転写部を経由して架け渡されている使用済みの転写テープを取り外し、新たな転写テープを転写部を経由させて架け渡し装着することで、新たな転写テープを交換補充し得るように構成されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、分離可能なケース本体とケース蓋とからなるケースの先端開口から突出する転写部の圧着ブレードを経由し露出する転写テープを隠蔽保護するロックカバーを、ケース本体とケース蓋とを外側から挾持するようにケースの先端開口側に前後可動式に具備してなる実用新案登録第 3003030 号に開示されている転写器の場合、新たな転写テープの交換補充時に、ロックカバーをケースの先端開口から完全に取り外さなければ、ケース本体とケース蓋とを分離することができない構造であることから、取り外されたロックカバーが紛失する虞れがあったり、転写テープの交換補充が終了し、ケース本体とケース蓋とを接合させた後にケースの先端開口に対してロックカバーを挿入装着するに当たり、細かい手作業が顧客（使用者）に要求される事となる。つまり、ロックカバーはケースから完全に取り外されており、ロックカバーをケースに対して嵌め合わせ挿入する際、ケースの先端開口縁にロックカバーが引っ掛かる等によりなかなか挿入されず、嵌め合わせ挿入するその組み付け作業に細かい手作業が要求される事となる。従って、従来においてはロックカバーを紛失する虞れがあるばかりか、転写テープを交換補充した後のロックカバーの組み付け作業に多大な手間を要する等の取り扱いに困難性（難度）を有し、ひいては転写テープの交換補充を行わずに、ケースを含めた転写器自体を使い捨てする傾向が見られ、その改善が望まれていた。

【0004】因みに、ロックカバーはケースの先端開口側に前後可動式に具備されることで、分離可能なケース本体とケース蓋とを接合された状態で挾持保持する機能と、前進状態においてケースの先端開口から突出する転写部の圧着ブレードを経由し露出する転写テープを隠蔽保護する機能を有する。つまり、保管時に露出したままの状態では放置されると、粘着性を有する転写テープの転写層にゴミや埃等が付着したり、或いは転写層の表面に凸凹が生じたり、皺が生じたり、又は衣服、書類その他の物に接触して汚したりしないようにケースの先端開口から露出する転写テープの転写層を隠蔽保護するものである。

【0005】本発明はこの様な従来事情に鑑みてなされたもので、その目的とする処は、ケースの先端開口から

露出する転写テープの転写層の隠蔽保護は勿論、新たな転写テープの交換補充時に、ケースを構成するケース本体とケース蓋とのいずれか一方側にロックカバーを係止保持させた状態で該ケース本体とケース蓋とを分離し得るように、更にはロックカバーを前後各位置に移動不動な状態で係脱自在に係止し得るように改良した転写テープ交換方式の転写器を提供することにある。

#### 【0006】

【課題を達成するための手段】課題を達成するために本発明は、転写テープを送り出す送出し部と、転写テープの転写層を被転写物に圧着転写する転写部と、転写層が転写された後の転写テープを巻き取る巻取り部とを具備するケースの先端開口側に前後可動式に具備され、前進位置でケースの先端開口から突出する転写部の圧着ブレードを経由し露出する転写テープを隠蔽保護するロックカバーを、断面が略横向きL字形又は略下向きコの字形やU字型を呈する枠状に形成し、その長手方向一側縁に縁方向略全長に亘る内向き状の長尺爪を設けると共に、長手方向他側縁にはその縁方向所要の位置で前記長尺爪よりも短い内向き状の短尺爪を設ける一方、前記ケースを構成する分離可能なケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に、前記ロックカバーの長尺爪をスライド可能に係合させる長尺爪溝を設けると共に、他方側には短尺爪をスライド可能に係合させる短尺爪溝を設けて、この長尺・短尺爪溝に対する長尺爪と短尺爪との挿入係合によりケース本体とケース蓋を挾持連結してなり、更に短尺爪溝の溝方向における所要の位置に短尺爪の長さに相当する長さにて切欠開口せしめた爪離脱用凹欠部を設けてなることを要旨とする。斯る技術的手段によれば、ケースの先端開口側に前後可動式に具備されるロックカバーによりケース本体とケース蓋とは外側から挾持されるように連結保持される一方、ロックカバーを前進位置までスライド移動させることで、ケースの先端開口から露出する転写テープの転写層は隠蔽保護される。そして、新たな転写テープの交換補充時にケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に設けた短尺爪溝の爪離脱凹欠部に対して該短尺爪溝にスライド可能に係合されているロックカバーの短尺爪が適合位置するように該ロックカバーをスライド移動させることで、ロックカバーによるケース本体とケース蓋との挾持連結状態が解除され、該ケース本体とケース蓋とを分離することができる。この時、ロックカバーはケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に設けた長尺爪溝に対する長尺爪の係合状態によりケース本体又はケース蓋の一方側に係止保持された状態に残る。

【0007】又、転写部の圧着ブレードを経由し露出する転写テープの転写層を隠蔽保護する前進位置と、転写テープの転写層を露出させる後退位置において、当該前後各位置にロックカバーに係脱自在に係止する互いに係合し合う凸凹からなる係止部を設けてなることを要旨と

する。斯る技術的手段によれば、転写部の圧着ブレードを経由する転写テープを隠蔽保護する前進位置まで、そして転写テープを露出させる後退位置までロックカバーを夫々スライド移動させると、ロックカバーは互いに係合し合う凸凹からなる係止部により当該前後各位置に移動不能な状態で係止される。

#### 【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の具体例を図面に基づいて説明する。図1は本発明転写器の実施の一例を示した分解図であり、分離可能に構成したケース本体1-1とケース蓋1-2とからなるケース1内に、転写テープ2をリール状に巻回保持する送出し部3と、転写層2-1が紙面等の被転写物にテープ状に圧着転写された後の転写テープ2を巻き取る巻取り部4とを噛合連繋させた状態で具備すると共に、ケース1の先端開口側には転写テープ2の転写層2-1を被転写物に圧着転写する転写部5を、その先端の圧着ブレード5-1を外部に突出させた状態で具備し、且つケース1の先端開口から突出する転写部5の圧着ブレード5-1を経由し露出する転写テープ2を隠蔽保護するロックカバー6を、ケース1の先端開口側に、ケース本体1-1とケース蓋1-2とを外側から挾持するように前後可動式に具備してなる。

【0009】ケース1は、軸方向の分離縁に互いに重合し合う接合縁部7、8を有するケース本体1-1とケース蓋1-2とをヒンジ9により連結させた状態で分離可能に構成し、送出し部3と巻取り部4とを内蔵具備する後部側から転写部5が具備される先端開口に向けて輪郭が球形先細状で扁平な箱形に形成してなる。そして、ケース1の先端開口側におけるケース蓋1-2側にロックカバー6の後述する長尺爪10をスライド可能に係合させる長尺爪溝11を設けると共に、ケース本体1-1側にはロックカバー6の後述する短尺爪12をスライド可能に係合させる短尺爪溝13を設ける。

【0010】送出し部3と巻取り部4とは、互いに噛合連繋せしめた状態でケース1の後部側内に回動可能に具備されて、使用時に連繋回動せしめて送出し部3は転写テープ2をケース1の先端開口から突出する転写部5の圧着ブレード5-1に向けて送出し、一方、巻取り部4は圧着ブレード5-1を経由し、該圧着ブレード5-1により被転写物に転写層2-1がテープ状に圧着転写（剥離転写）された後の転写テープ2を巻取回収するようになっている。

【0011】因みに、ケース1内に噛合連繋された状態で回動可能に内蔵具備される送出し部3と巻取り部4、そしてケース1の先端開口側に具備される転写部5は、ケース本体1-1の内側に設けられている各支持部14、15、16に対して装着可能な相対姿勢で紙や合成樹脂材料等の所望な材料からなる板状の支持体17に保持されており、ケース本体1-1の各支持部14、15、16に保持させてその内側にセットした後に、支持体17のみを取り外すこ

とで、ケース本体1-1 の内側に着脱可能に具備されるようになっている。つまり、新たな転写テープ2を交換補充する時には支持体17に保持され尚且つ包装された状態で交換品として販売されているユニット化された送出し部3、巻取り部4、そして転写部5を購入することで、使用済みの送出し部3、巻取り部4、そして転写部5をカートリッジ方式にて一括して交換し得るようになっている(図5参照)。尚、図中18, 19, 20は、ケース本体1-1の前述した各支持部14, 15, 16と相対させた位置関係でケース蓋1-2 の内側に設けられている各支持部である(図1参照)。

【0012】長尺爪溝11は、ケース蓋1-2 の外側にケース1の先端開口縁からロックカバー6の前後スライド範囲にて設けて、ロックカバー6の長尺爪10を挿入係合するようにしてなる。一方、短尺爪溝13は、ケース本体1-1の外側にケース1の先端開口縁からロックカバー6の前後スライド範囲にて設けて、ロックカバー6の短尺爪12を挿入係合するようにしてなる。そして、この短尺爪溝13の溝方向における所要の位置に短尺爪12の長さにて切欠開口せしめた爪離脱用凹欠部21を設けると共に、この爪離脱用凹欠部21を挟む前後の所要の位置にはロックカバー6を係脱自在に係止する後述する係止部22を構成する前後の凸部22-1, 22-10 を夫々設ける。

【0013】図中23は、ケース本体1-1 の爪離脱用凹欠部21に相対(対応)せしめた状態で且つ該爪離脱用凹欠部21に適合し得る突出形状でケース蓋1-2 の接合縁部8から突設せしめた凸片であり(図2参照)、この凸片23の突端縁にはロックカバー6の短尺爪12がスライド可能に係止する係止縁部24が形成されており、新たな転写テープ2の交換補充時においてロックカバー6をスライド移動させて短尺爪12を短尺爪離脱凹欠部21に対して適合位置させた際、短尺爪12が係止縁部24に係止されるようになっている(図6(ハ)及び図7参照)。つまり、係止縁部24は短尺爪溝13の溝幅にて凸片23の突端縁にその縁方向に形成されてケース本体1-1 とケース蓋1-2 が接合された状態において、爪離脱用凹欠部21が開口されているその開口範囲にて短尺爪溝13の一部を構成するようになっている。

【0014】爪離脱用凹欠部21は、ロックカバー6の短尺爪12をケース本体1-1 の短尺爪溝13からその溝方向に対して直交する方向に離脱せしめる役目を成す。つまり、ロックカバー6によるケース本体1-1 とケース蓋1-2 との摺持連結状態を解除するためのもので、ケース1の先端開口から突出する転写部5の圧着ブレード5-1 を経由し露出する転写テープ2の転写層2-1 を隠蔽保護するロックカバー6の前進位置(図6(ロ)の状態)と、転写層2-1 を露出させるロックカバー6の後退位置(図6(イ)の状態)において短尺爪溝13にスライド可能に係合されている該ロックカバー6の短尺爪12が存在位置しないその溝方向の所定の位置(図では係止部22の前後

凸部22-1, 22-10 の間で尚且つ後側凸部22-10 側)に短尺爪12の長さに相当する開口幅にて短尺爪溝13からケース本体1-1 の接合縁部7側に向けて切欠開口せしめて

(図2参照)、ケース本体1-1 とケース蓋1-2 を接合せしめることで、ケース蓋1-2 側の前述した凸片23が適合するようにしてなる(図7の状態)。

【0015】係止部22は、ロックカバー6の前述した前進位置並びに後退位置において、該ロックカバー6を当該前後各位置に前後不動な状態に係止する役目と、ロックカバー6を前後にスライド移動させた際、その前進・後退位置までロックカバー6がスライド移動したことを使用者の指先等に感触(負荷抵抗)として伝える役目を成すもので、短尺爪溝13の溝部を遮断するように設けた前後の凸部22-1, 22-10 と、ロックカバー6の短尺爪12側に設けた凹部22-2とからなり、この凹部22-2が前側凸部22-1と後側凸部22-10 に対して夫々係脱自在に係合するようにしてなる。

【0016】ロックカバー6は、ケース1の先端開口側においてケース本体1-1 とケース蓋1-2 とを外側から摺持し得る断面略横向きL字形を呈する厚肉棒状に形成し、その長手方向一侧の屈曲部6-1 縁に縁方向略全長に亘る内向き状の長尺爪10を設けると共に、長手方向他側の平坦部6-2 縁にはその縁方向所要の位置(図では後端部側)に前述した短尺爪溝13の爪離脱用凹欠部21の開口幅よりも僅かに小さい長さにて内向き状の短尺爪12を設けて(図8参照)、ケース本体1-1 とケース蓋1-2 とを接合せしめた状態で長尺爪10をケース蓋1-2 側の長尺爪溝11に対して、短尺爪12をケース本体1-1 側の短尺爪溝13に対して夫々挿入係合させることで、ケース1の先端開口側に前後可動式に具備し得るよう形成してなる。更に、短尺爪12には短尺爪溝13の前後の凸部22-1, 22-10 に対して係脱自在に係合させる凹部22-2を設ける。図中25は、ロックカバー6の表面後端に他の部分より一段程高く形成した指掛け部であり、26はその近傍に設けた滑り止めである。

【0017】而して、以上の如く構成した転写テープ交換方式の転写器によれば、ケース1の先端開口側に前後可動式に具備したロックカバー6を、短尺爪12の凹部22-2が短尺爪溝13の前側凸部22-1に対して係合する前進位置までスライド移動させることで、ケース1の先端開口から突出する転写部5の圧着ブレード5-1 を経由し露出する転写テープ2の転写層2-1 にゴミや埃等が付着したり、或いは転写層2-1の表面に凸凹が生じたり、皺が生じたり、又は衣服、書類その他の物に接触して汚れたりしないように隠蔽保護する保管状態となる(図6(ロ)の状態)。この時、短尺爪12の凹部22-2が短尺爪溝13の前側凸部22-1に対して係合せしめる際に生じる負荷抵抗が使用者の指先等に感触として伝えられると共に、ロックカバー6は当該前進位置に係止保持される。それにより、保管状態においてロックカバー6が勝手(不用意)

に移動することがなく、ロックカバー 6 による転写層 2-1 の隠蔽保護状態が確実に保たれる。一方、使用する際には短尺爪 12 の凹部 22-2 が短尺爪溝 13 の後側凸部 22-10 に対して係合する後退位置までスライド移動させることで、ロックカバー 6 により隠蔽されていた転写テープ 2 の転写層 2-1 を露出させた使用状態となる（図 6（イ）の状態）。この時、短尺爪 12 の凹部 22-2 が短尺爪溝 13 の後側凸部 22-10 に対して係合せしめる際に生じる負荷抵抗が使用者の指先等に感触として伝えられると共に、ロックカバー 6 は当該後退位置に係止保持される。これにより、使用中にロックカバー 6 が勝手に移動することはない。つまり、圧着ブレード 5-1 にて転写テープ 2 を被転写物に圧着せしめながら移動させて転写層 2-1 を被転写物にテープ状に転写する使用状態においてロックカバー 6 が勝手に移動してきて邪魔になることはない。

【0018】そして、転写テープ 2 の消費（転写層 2-1 の消費）に伴い送出し部 3 にリール状に巻回されている転写テープ 2 の残量が零となり、新たな転写テープ 2 の補充が生じた場合にはロックカバー 6 の短尺爪 12 がケース本体 1-1 の爪離脱凹欠部 21 に対して適合位置する位置までロックカバー 6 をスライド移動させることで（図 6（ハ）の状態）、ロックカバー 6 によるケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 との摺持連結状態が解除され、ヒンジ 9 を支点にケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを分離することができる（図 1 の状態）。この時、ロックカバー 6 の短尺爪 12 はケース本体 1-1 の短尺爪溝 13 の一部を構成するケース蓋 1-2 の凸片 23 の係止縁部 24 に係止せしめた状態となり（図 7 の状態）、この係止縁部 24 に対する係止状態とケース蓋 1-2 の長尺爪溝 11 に対する長尺爪 10 の係合状態とによってロックカバー 6 はケース蓋 1-2 側に係止保持された状態に残る（図 1 及び図 7 の二点鎖線の状態）。それにより、ケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 を分離せしめて新たな転写テープ 2 と交換するその交換補充時に接合縁部 7、8 同士を合わせてケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを接合せしめた後にロックカバー 6 を前後いずれか一方にスライド移動させると言ったワンタッチ操作で交換作業が完了する。

【0019】図 9 乃至図 10 は、転写器の他の実施例を示し、斯る実施例では前述した実施例詳述のように、ヒンジ 9 によるケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 との連結形態に変えて、係脱自在に係合する連結溝 27 と連結爪 28 によりケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを接合連結し得るように構成してなるものである。つまり、新たな転写テープ 2 の交換補充時において、ケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを完全に分離し得るようにしてなるものである。斯る実施例においてはケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを完全に分離し得るように構成した以外の構成形態においては前述した実施例詳述と基本的に同じことから同じ構成部分に同じ符号を用いることでその説明は省略する。然るに、斯る実施例においてはケース本体 1-1 の接

合縁部 7 側に連結溝 27 を設ける一方で、この連結溝 27 と相対するケース蓋 1-2 の接合縁部 8 側に連結爪 28 を設けて、ケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを接合させてケース 1 を構成する際に、ケース本体 1-1 側の連結溝 27 に対してケース蓋 1-2 側の連結爪 28 を係合させることで（図 10 の状態）、送出し部 3 と巻取り部 4 とが内蔵具備されるケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 との後部側を分離可能に連結し得るように形成してなる。そして、圧着ブレード 5-1 を突出させた状態で転写部 5 が具備されるケース 1 の先端開口側においては前述した実施例詳述のように、ケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 とを外側からロックカバー 6 により分離可能に摺持連結し得るようにしてなるものである。

【0020】尚、ロックカバー 6 の断面形状としては前述した実施例詳述のように、略横向き L 字形に限らず、例えば略下向きコの字形や U 字形等任意である。要するに、前進位置においてケース 1 の先端開口から露出する転写テープ 2 の転写層 2-1 が存在する側を隠蔽保護し得る断面形状で、新たな転写テープ 2 を交換補充する時にはケース本体 1-1 とケース蓋 1-2 との摺持連結状態を解除せしめた状態で尚且つその一方側、例えば前述した実施例詳述のようにケース蓋 1-2 側に対して係止保持された状態に残る断面形状であれば良い。

【0021】

【発明の効果】本発明の転写器は叙上の如く構成してなるから、下記の作用効果を奏する。

①. ケースを構成するケース本体とケース蓋とのいずれか一方側に設けた短尺爪溝の爪離脱凹欠部に対して該短尺爪溝に係合されているロックカバーの短尺爪が適合位置するように該ロックカバーをスライド移動させることで、ロックカバーによるケース本体とケース蓋との摺持連結状態が解除される一方で、ロックカバーの長尺爪は他方側に設けられている長尺爪溝に対して係合状態が保たれた状態で、ケース本体とケース蓋を分離し得るように形成してなることから、転写テープを交換補充する際にケース本体とケース蓋を分離せしめてもそのいずれか一方側にロックカバーが係止保持された状態に残る。

【0022】②. ロックカバーの前進位置と後退位置において、当該前後各位置にロックカバーに係脱自在に係止する係止部を設けてなることから、ケースの先端開口から突出する転写部を經由し露出する転写テープを隠蔽保護する前進位置、そして転写テープを露出させる後退位置に、ロックカバーが勝手（不用意）に移動しないように当該前後各位置に移動不動な状態で係止保持させておくことができる。

【0023】従って、本発明によれば、新たな転写テープの交換補充時に、ケースを構成するケース本体とケース蓋とのいずれか一方側にロックカバーに係止保持させた状態でケース本体とケース蓋とを分離させることができることから、従来の転写器のようにロックカバーが紛

失したり、転写テープの交換補充が終了した後にロックカバーを挿入装着しなければならないと言った面倒で手間の掛かる組み付け作業が一切不要となり、単にケース本体とケース蓋とを接合させた後にロックカバーをスライド移動させると言ったワンタッチ操作で交換作業が完了する。よって、使用者にとって交換作業が大幅に改善され、取扱性の向上が図られた転写器となる。又、ロックカバーを前後各位置に移動不動な状態で係止保持させておくことができることから、保管時にゴミや埃が付着したり、或いは転写層の表面に凸凹が生じたり、又は衣服、書類その他の物に接触して汚したりしないように転写部を経由し露出する転写テープの隠蔽する保護状態が確実に保たれると共に、使用時にはロックカバーが移動してきて邪魔になることもない。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 ケース本体とケース蓋とを分離せしめた状態の本発明転写器の実施の一例を示した分解図

【図2】 ロックカバーを取り外した状態を示す同要部の斜視図

【図3】 ケース本体とケース蓋とを接合せしめてケースを構成した状態の正面図で、一部を切欠して示す

【図4】 図3のIV-IV線縦断面図

【図5】 新たな転写テープの交換補充時に、ケース本体に対して送だし部、巻取り部、そして転写部をカートリッジ方式にて補充するその補充形態の一例を示した斜視図で、ケース蓋を省略して示す

【図6】 ケースの先端開口側を示した要部の拡大正面図で、(イ)はロックカバーを後退位置まで移動させた使用状態を示す、(ロ)はロックカバーを前進位置まで移動させた保管状態を示す、(ハ)はロックカバーの短尺爪をケース本体の爪離脱用凹欠部に対して適合位置させたケース本体とケース蓋との分離状態を示す

【図7】 図6(ハ)のVII-VII線縦断面図

【図8】 ロックカバーを示した斜視図

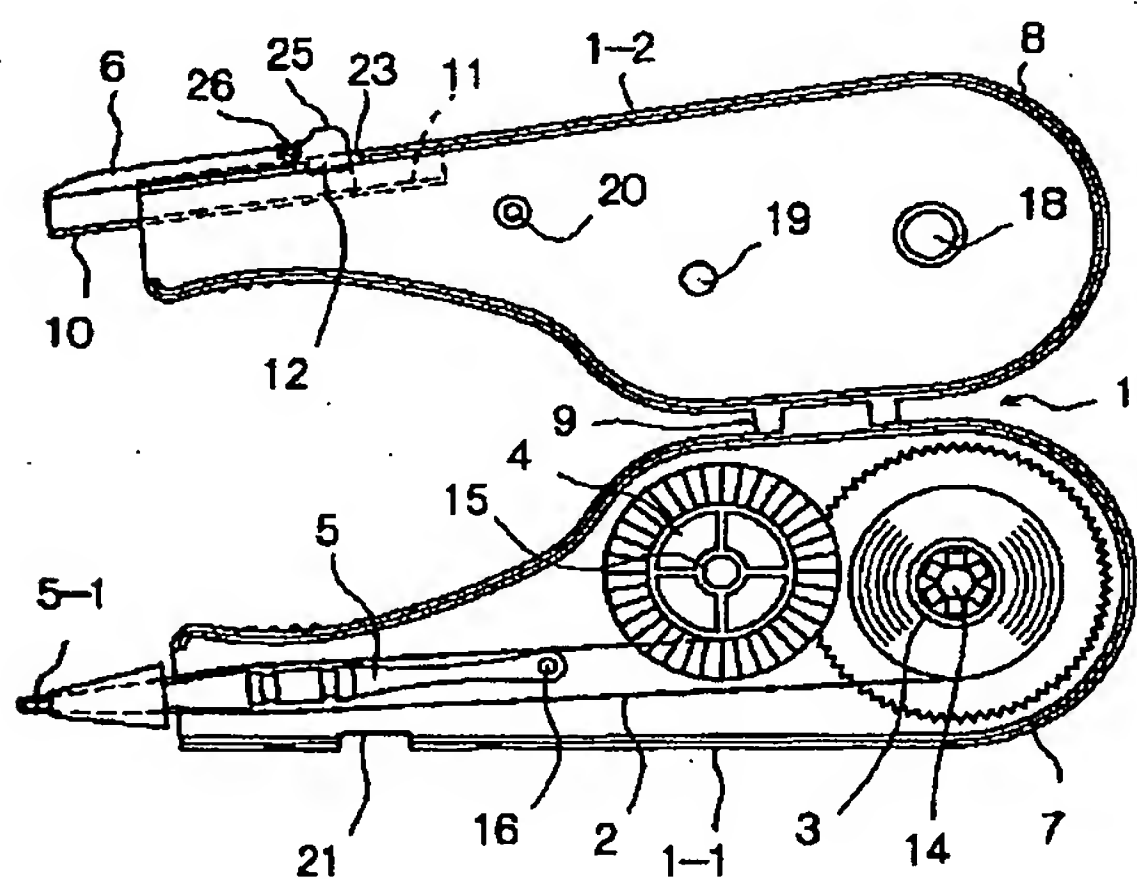
【図9】 ケース本体とケース蓋とを分離せしめた状態の本発明転写器の他の実施例を示した分解図

【図10】 図9のX-X線拡大横断面図で、ケース本体とケース蓋とを接合せしめた状態を示す

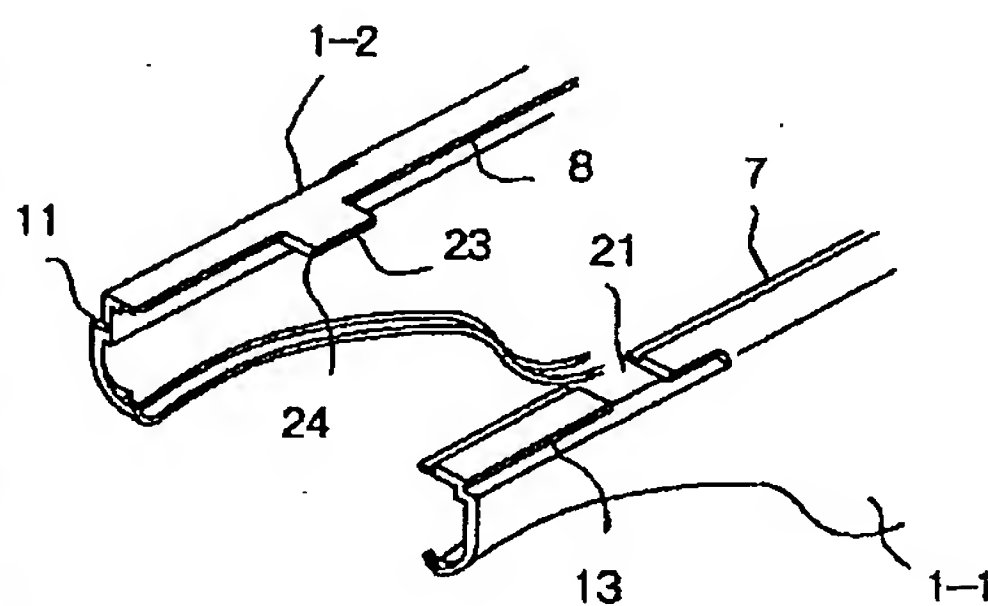
#### 【符号の説明】

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1…ケース      | 1-1…ケース本体 |
| 1-2…ケース蓋   | 2…転写テープ   |
| 2-1…転写層    | 3…送だし部    |
| 4…巻取り部     | 5…転写部     |
| 5-1…圧着ブレード | 6…ロックカバー  |
| 10…長尺爪     | 11…長尺爪溝   |
| 12…短尺爪     | 13…短尺爪溝   |
| 21…爪離脱用凹欠部 | 22…係止部    |
| 22-1,      |           |
| 22-10…凸部   | 22-2…凹部   |
| 23…凸片      | 24…係止縁部   |

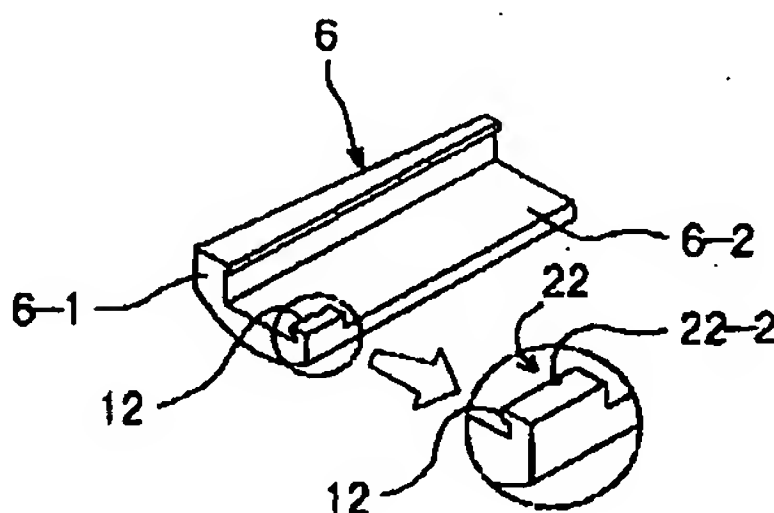
【図1】



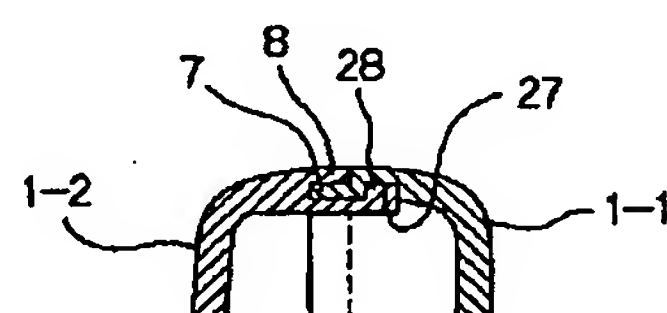
【図2】



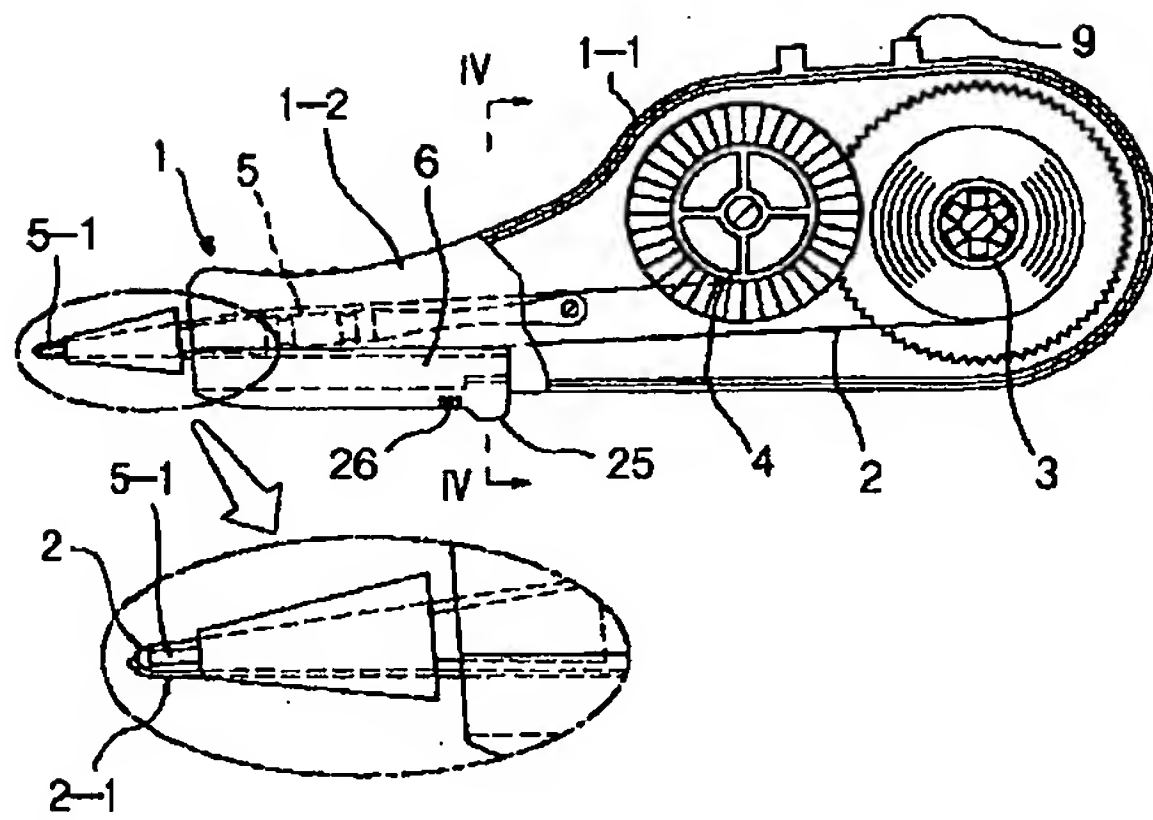
【図8】



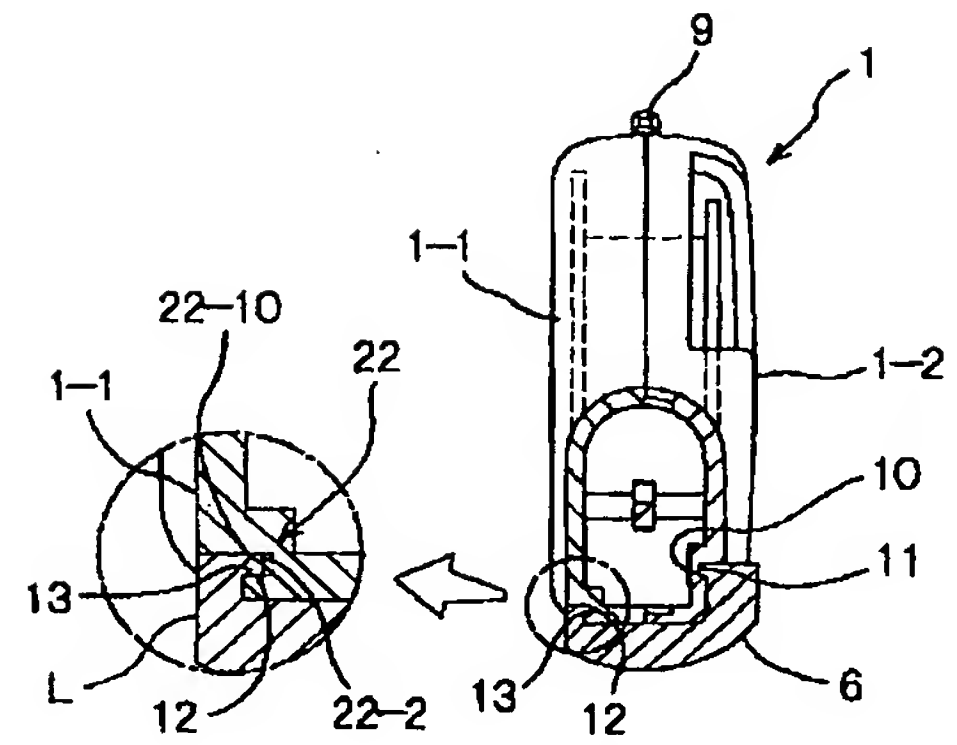
【図10】



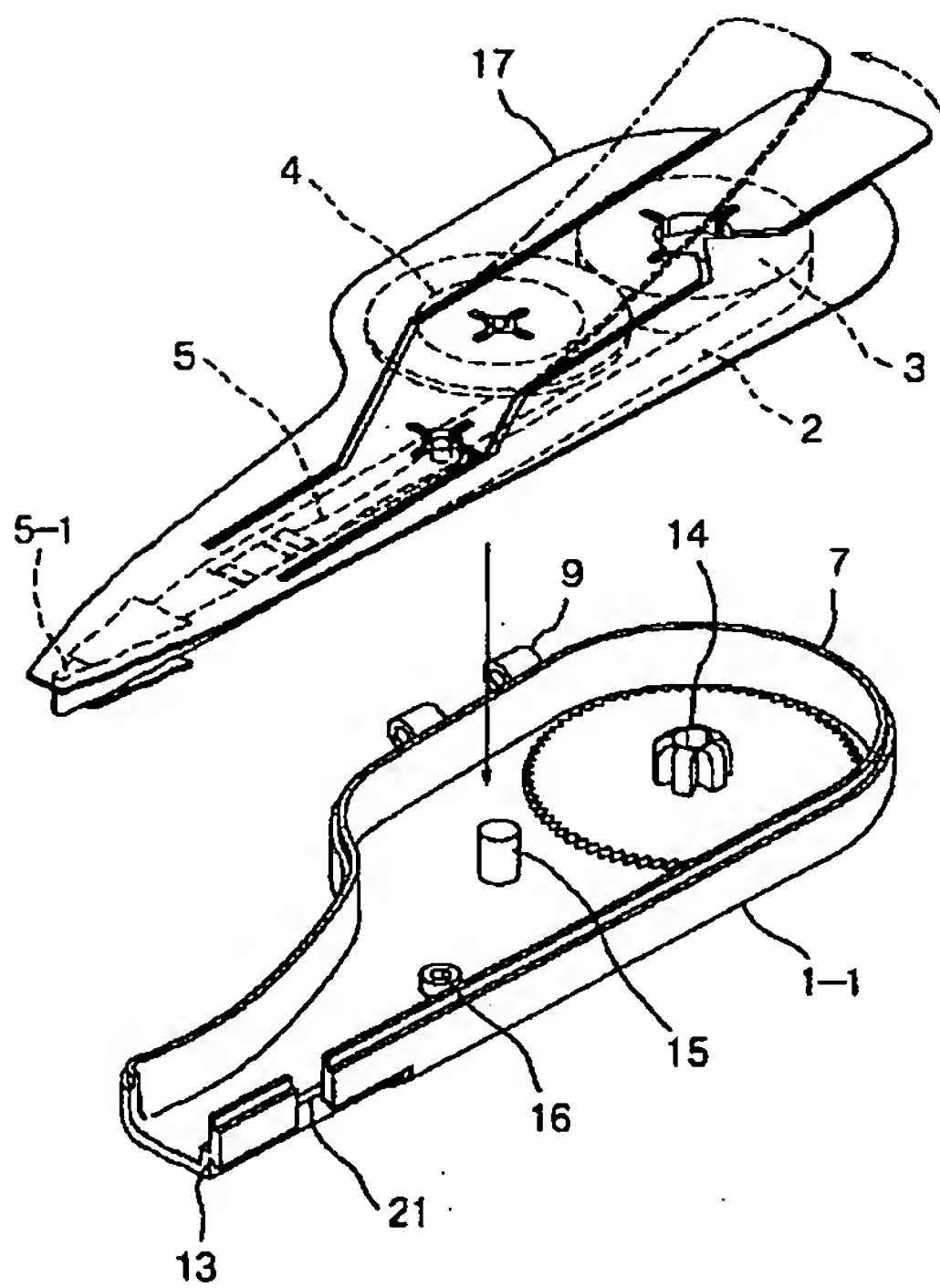
【図 3】



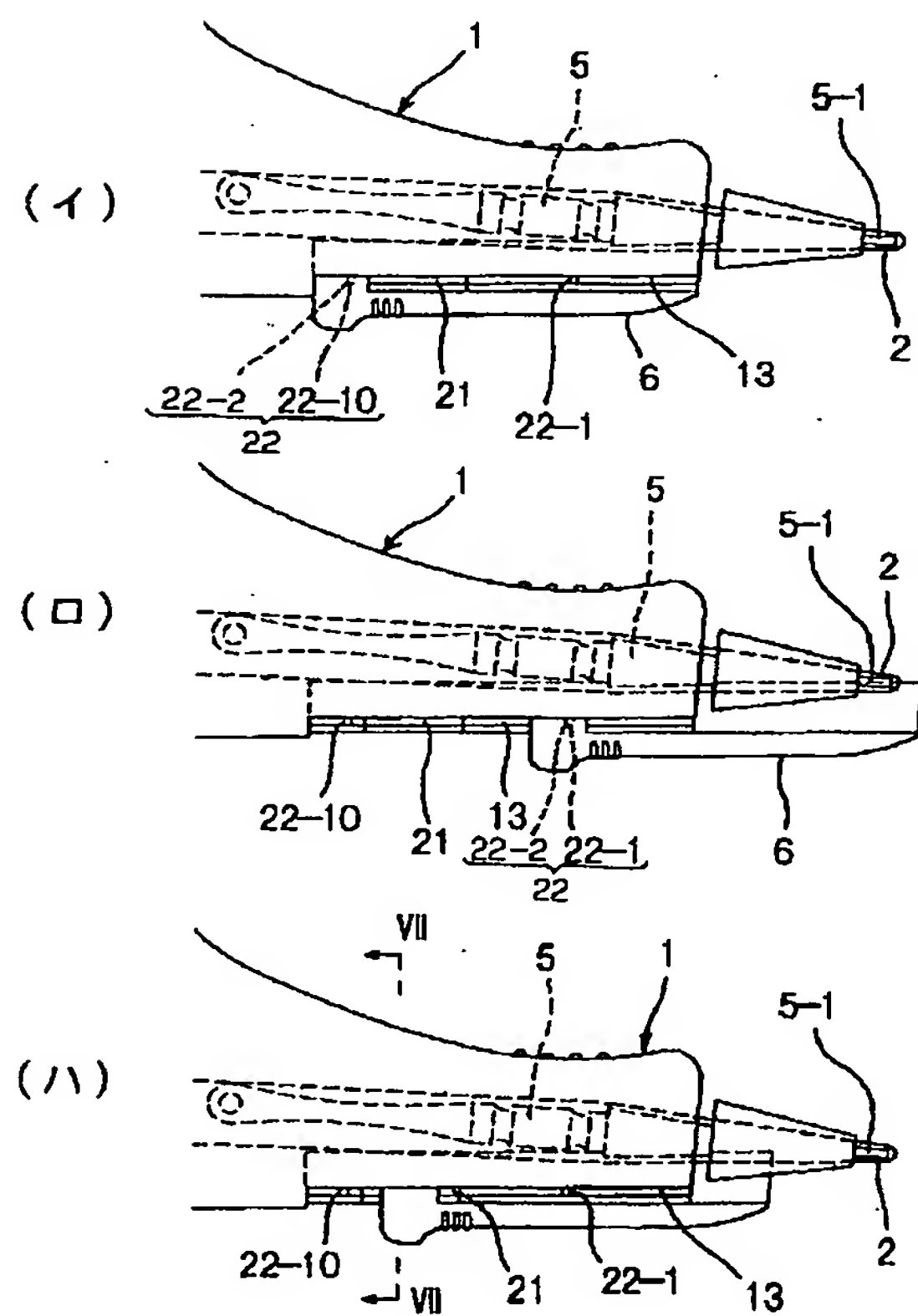
【図 4】



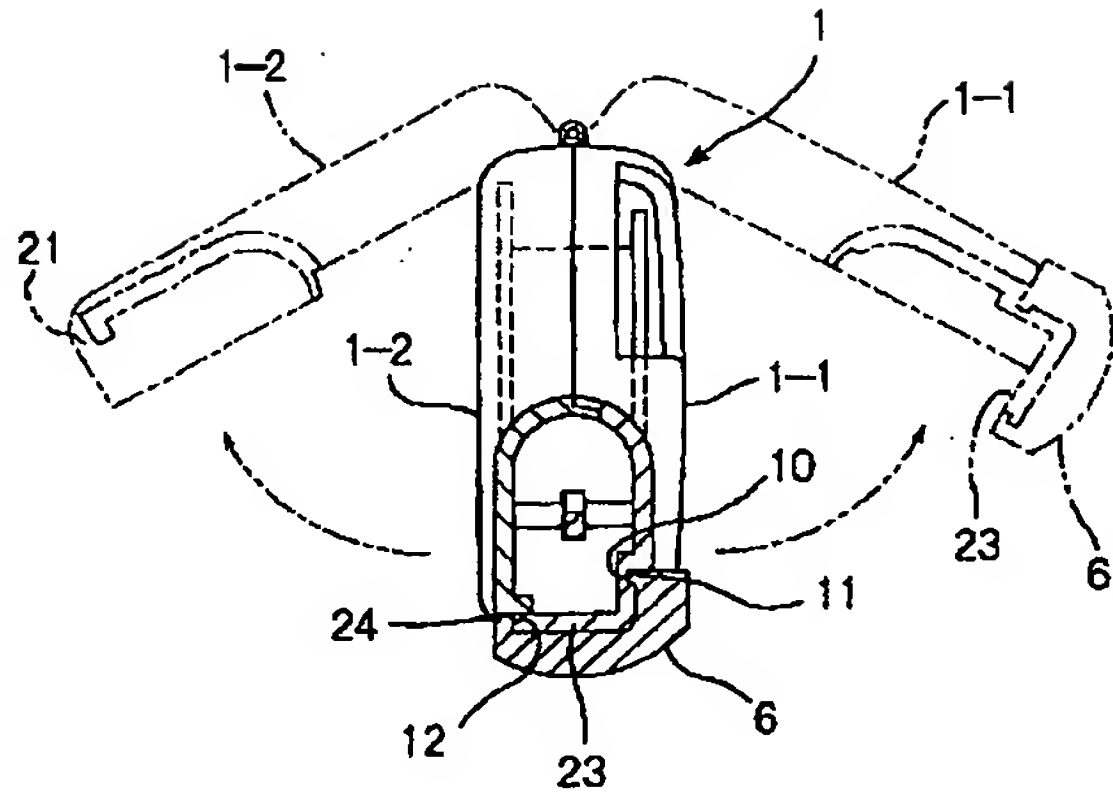
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 9】

